

6号 冬 2023

通巻 149 号

ひがし 谷山

東谷山校区コミュニティ協議会



【社会教育部から】女性学級講座参加募集 楽しく学びあいましょう

令和4年度もコロナに振り回されました。いろいろなことにチャレンジしました。フラダンスにシニア向けの片づけ術、門松作り等。

学びながら、生活に活かして楽しむ講座を年10回やっています。令和5年度は皆さんも仲間に入りませんか？

※裏面「がったに広場」にて講座参加者募集中

■2022年度 女性学級報告書

第1回	5月16日	月曜日	開級式
第2回	6月6日	月曜日	免疫力アップの講義と体に優しい運動
第3回	7月4日	月曜日	人権に関する学習
第4回	10月3日	月曜日	シニア世代の片づけ術
第5回	11月17日	木曜日	フラダンス
第6回	11月19日	土曜日	研修視察(垂水市千本銀杏)鹿児島市福祉バスを借りて1日遠足
第7回	12月12日	月曜日	モンスターーラディッシュ(桜島大根)で血管の病気を防ぐ
第8回	12月26日	月曜日	門松づくり
第9回	令和5年1月23日	月曜日	消費者問題
第10回	令和5年2月20日	月曜日	閉級式



【社会体育部から】「東谷山スポーツ王校区」を目指します ボッチャ、ヨガ、バドミントン、卓球 「東谷山スポーツ講座」(仮称)6月スタート予定

平均寿命の延伸や余暇時間の増大、生活意識の多様化からスポーツの大衆化が進み、老若男女誰でもスポーツに楽しみを求め、健康づくりや仲間づくりの場としてスポーツを行うことが広く普及され実践されています。

そこで、社会体育部では、健康寿命の延伸、健康の保持増進を目的として、いつでも、誰でも、自分のライフスタイルや興味に応じて気軽にスポーツに参加できるようにスポーツする場を提供予定です。



【我がまちの歴史】第5回 波之平刀匠遺跡 谷山笠貫の地で刀が作り続けられた訳は？

古い記録によれば、平安時代の終わり一条天皇の時（約1000年前）、大和国（奈良県）の刀匠橋口正国という人が、この谷山に来て刀を作り始めたという。

一条天皇の守り刀を作つてから、その名が世間に知られるようになり、代々その子孫は谷山の地に住み着いて明治の初めまで64代におよび刀作りを続けた。この谷山笠貫の場所で刀を作り続けられたのは、①質の良い砂鉄が近くの海岸に豊富にあったこと、②この土地の水が刀作りにあってこと、③山が近くて木炭も豊富にあったこと、この3条件が揃っていたからである。愛知県猿投神社にある「波之平刀」は国指定の文化財になっている。

波之平、笠貫の地名由来は次回に紹介します。

※参考文献／谷山観光協会発行「谷山の歴史と文化財 改訂版」（文責／松本俊雄）

「遺跡と史跡をめぐる 東谷山校区歩こう会」

社会教育部ではあいご会協力のもと、11月5日土曜日午前中に、テレビでもご活躍の「NPO法人鹿児島探検の会」の東川隆太郎先生を招いて、校区内にある史跡をめぐるまち歩きを行いました。親子10組スタッフ総勢32名でした。

コースは学校→奥龍藏権現→奥公園 田の神→波之平刀匠の遺跡→桜川公園 田の神→谷山電停→煙硝倉跡→小松原公園(玉里別邸跡)です。

東川先生のお話は今まで知らなかつた私たちのまち“魚見”や“谷山”的話で大変興味深く、子どもたちはメモを取りながら、また先生の出す難しいクイズにもチャレンジし、正解者には飴のプレゼントもあって積極的に話を聞いていました。

終了後の保護者アンケートでも「他の子がメモしている姿に影響されて、話をよく聞きメモしていたのが良かった」「車で通りなれた道だけど、このような遺跡があるなんて知らなかつた」「東川先生の説明が分かりやすく、ますます地元の歴史に興味を持ちました」というように、親も子どもたちも楽しく有意義な時間が過ごせたようです。

社会教育部としては「歩こう会」は初めての企画でした。今回は東川先生の意向で親子の歩こう会を行いましたが、次は大人向けの歩こう会も企画してみようと考えています。



毎年恒例の「初日を拝む会」を開催

東谷山校区コミュニティ協議会では、元旦の午前7時から毎年恒例となっている「初日を拝む会」を東谷山中学校校庭で開催しました。2023年（令和5年）の初日を見ようと校区の方々200人余りが見守る中、午前7時17分大隅半島の彼方から初日が上がり「コロナの収束、平和と安全」をこもごも祈願しました。



秋の夜に東谷山花火開花

東谷山校区コミュニティ協議会は、令和4年10月15日午後8時から東谷山中学校校庭で微風の夜空に75発の花火を打ち上げました。コロナ収束・無病息災・家内安全・商売繁昌それぞれの願いを祈念しながら小学校の周辺から花火を楽しみました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 「Mottainai(もったいない)」は、国際語です。

今回は 食品ロスを話しましょう。畑で生産者に依つて作られた野菜たち。生ゴミとして処分される悲しい姿を目撃付けておくと、そんな姿を私は作らないという気持ちになる。使う量を買い、下処理をして残りの分は、冷凍保存する。食べられる分だけ作る。

自然界の生き物たちは、いま自分に必要な分だけを食べる。残りは、仲間たちへ、また自然に戻そう！と。教えている。（鬼塚カズエ）

